
苫小牧市立病院経営指標自己評価

令和 5 年 1 0 月

苫小牧市立病院

【目 次】

苫小牧市立病院経営指標評価基準表	1
1 医療機能等指標に係る項目	2
2 経営の効率化に係る項目		
(1) 収支改善に係るもの	4
(2) 経費削減に係るもの	5
(3) 収入確保に係るもの	6
(4) 経営の安定性に係るもの	8
3 収支の状況	9

苫小牧市立病院経営指標評価基準表

苫小牧市立病院経営指標に掲げた項目（33項目）について、令和4年度の目標値と実績値を比較、分析し、以下のとおりAからEまでの5段階で評価する。

評価	評価基準
A	経営指標の目標値を大幅に上回り、特に優れた成果が認められる。
B	経営指標の目標値を達成している。
C	経営指標の目標値をおおむね達成している。
D	経営指標の目標値を下回っており、改善の余地がある。
E	経営指標の目標値を大幅に下回っており、大幅な改善が必要。

苫小牧市立病院経営指標評価項目

1 医療機能等指標に係る項目

番号	項目	4年度 目標値	4年度 実績値	比較	自己評価・分析																					
					評価	コメント																				
1	紹介患者数(人)	7,500	7,548	48	B	<p>前年度に引き続き、コロナ対応を優先するため、医療提供体制のフェーズに応じた診療制限を行いました。制限や解除の状況を関係医療機関へ即時に周知することで、紹介患者数は増加しています。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">3年度</td> <td style="text-align: center;">4年度</td> <td style="text-align: center;">増減</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7,168人</td> <td style="text-align: center;">7,548人</td> <td style="text-align: center;">380人</td> </tr> </table>	3年度	4年度	増減	7,168人	7,548人	380人														
3年度	4年度	増減																								
7,168人	7,548人	380人																								
2	逆紹介(診療情報提供)件数(件)	4,900	6,442	1,542	A	<p>逆紹介件数は増加し目標値は上回りましたが、コロナ禍以前のR1年度と比べると減少しており、当院治療後の関係機関への逆紹介を積極的に進めています。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">元年度</td> <td style="text-align: center;">4年度</td> <td style="text-align: center;">増減</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6,964人</td> <td style="text-align: center;">6,442人</td> <td style="text-align: center;">▲522人</td> </tr> </table>	元年度	4年度	増減	6,964人	6,442人	▲522人														
元年度	4年度	増減																								
6,964人	6,442人	▲522人																								
3	紹介率(%)	46.0	47.7	1.7	B	<p>目標値は上回りましたが、昨年度に比べ紹介率は減少しており、関係機関からの紹介に対しスムーズに診療できるよう院内体制の整備を行います。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">3年度</td> <td style="text-align: center;">4年度</td> <td style="text-align: center;">増減</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">49.3%</td> <td style="text-align: center;">47.7%</td> <td style="text-align: center;">▲1.6%</td> </tr> </table>	3年度	4年度	増減	49.3%	47.7%	▲1.6%														
3年度	4年度	増減																								
49.3%	47.7%	▲1.6%																								
4	逆紹介率(%)	40.0	44.8	4.8	B	<p>逆紹介件数の増加に伴い逆紹介率は上昇しております。引き続き関係機関と連携した診療に努めます。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">3年度</td> <td style="text-align: center;">4年度</td> <td style="text-align: center;">増減</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">40.8%</td> <td style="text-align: center;">44.8%</td> <td style="text-align: center;">4.8%</td> </tr> </table>	3年度	4年度	増減	40.8%	44.8%	4.8%														
3年度	4年度	増減																								
40.8%	44.8%	4.8%																								
5	時間外救急患者数(件)	4,200	4,130	▲70	C	<p>当圏域で一次救急を担う「夜間・休日急病センター」と、輪番制で二次救急を担う当院・王子総合病院の救急患者数の合計は、3年度と比較して1,153人増加しており、当院においても187人増加しました。</p> <p>※当圏域の救急患者数</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">3年度</td> <td style="text-align: center;">4年度</td> <td style="text-align: center;">増減</td> </tr> <tr> <td>市立</td> <td style="text-align: center;">3,943人</td> <td style="text-align: center;">4,130人</td> <td style="text-align: center;">187人</td> </tr> <tr> <td>王子</td> <td style="text-align: center;">4,150人</td> <td style="text-align: center;">4,795人</td> <td style="text-align: center;">645人</td> </tr> <tr> <td>救急センター</td> <td style="text-align: center;">9,016人</td> <td style="text-align: center;">9,337人</td> <td style="text-align: center;">321人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">17,109人</td> <td style="text-align: center;">18,262人</td> <td style="text-align: center;">1,153人</td> </tr> </table> <p>目標値をわずかに下回りましたが、いずれの医療機関においても3年度と比較して救急患者数が増加していることから、コロナとの共存が進み、感染対策は継続しつつ外出する機会が増加したため、救急医療の需要が拡大したものと分析しています。</p>		3年度	4年度	増減	市立	3,943人	4,130人	187人	王子	4,150人	4,795人	645人	救急センター	9,016人	9,337人	321人	合計	17,109人	18,262人	1,153人
	3年度	4年度	増減																							
市立	3,943人	4,130人	187人																							
王子	4,150人	4,795人	645人																							
救急センター	9,016人	9,337人	321人																							
合計	17,109人	18,262人	1,153人																							
<p>【参考】 一次救急～夜間・休日急病センターや休日当番の医療機関などで行われる入院や手術を伴わない医療 二次救急～入院や手術を要する症例に対する医療</p>																										

番号	項目	4年度 目標値	4年度 実績値	比較	自己評価・分析							
					評価	コメント						
6	分べん取扱い件数(件)	680	684	4	B	<p>助産師の中途採用や夜勤時間帯の看護スタッフ増員など、前年度に構築した体制を維持した結果、目標値を上回ることができました。</p> <table border="0"> <tr> <td>3年度</td> <td>4年度</td> <td>増減</td> </tr> <tr> <td>682件</td> <td>684件</td> <td>2件</td> </tr> </table>	3年度	4年度	増減	682件	684件	2件
3年度	4年度	増減										
682件	684件	2件										
7	手術件数(件) (うち全身麻酔手術 (件))	2,200 (1,300)	2,237 (1,336)	37 (36)	B	<p>目標値を上回ったものの、コロナ禍以前は年間2,500件程度の実績があったことから、引き続き手術件数の回復に取り組んでいきます。</p> <table border="0"> <tr> <td>3年度</td> <td>4年度</td> <td>増減</td> </tr> <tr> <td>2,046件 (1,246件)</td> <td>2,237件 (1,336件)</td> <td>191件 (90件)</td> </tr> </table>	3年度	4年度	増減	2,046件 (1,246件)	2,237件 (1,336件)	191件 (90件)
3年度	4年度	増減										
2,046件 (1,246件)	2,237件 (1,336件)	191件 (90件)										

2 経営の効率化に係る項目

(1) 収支改善に係るもの

番号	項目	4年度 目標値	4年度 実績値	比較	自己評価・分析	
					評価	コメント
8	経常収支比率(%)	101.7	108.6	6.9	A	入院収益、外来収益の増加や、新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金の活用による医業外収益の増加、また、病院事業費用の執行残により目標値を上回り、黒字化することができました。 【9頁の27番、28番参照】
※算出式 = (経常収益 ÷ 経常費用) × 100 【参考】 経常収益 = 医業収益 + 医業外収益 経常費用 = 医業費用 + 医業外費用 経常収支 = 経常収益 - 経常費用						
9	医業収支比率(%)	74.3	78.5	4.2	B	目標値を上回りましたが、安定的な経営基盤を構築するためには、医業収益による全体の収支均衡が重要であることから、今後の増患対策が課題であると認識しています。
※算出式 = (医業収益 ÷ 医業費用) × 100 【参考】 医業収支 = 医業収益 - 医業費用						
10	資金不足比率(%)	-	-	-	B	前年度に引き続き純利益を計上し、資金不足額が発生しないことから、当該比率は算出されません。
※算出式 = (資金不足額 ÷ 事業規模) × 100 【参考】 資金不足額 = (流動負債 + 建設改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高 - 流動資産) - 解消可能資金不足額 事業の規模 = 医業収益の額 - 受託工事収益の額						

(2) 経費削減に係るもの

番号	項目	4年度 目標値	4年度 実績値	比較	自己評価・分析	
					評価	コメント
11	職員給与費対 医業収益比率(%)	62.5	60.0	▲2.5	B	職員給与費は執行残により減少し【9頁の28番参照】、かつ、医業収益が目標値よりも増加したことから【9頁の27番参照】、結果として当該比率を下げることができました。 病院事業は人的サービスが主体であり、当該比率が高い傾向にありますが、コロナ禍の影響から医業収益が極端に減少しており、平常時の比率とは比較できないものと認識しています。
※算出式 = (職員給与費 ÷ 医業収益) × 100						
12	材料費対医業収益比率 (%) (うち薬品費比率 (%))	26.1 (13.8)	23.7 (12.4)	▲2.4 (▲1.4)	B	材料費は、診療材料や薬品の使用量が見込を下回ったことなどにより減少し【9頁の28番参照】、かつ、医業収益が目標値よりも増加したことから【9頁の27番参照】、結果として当該比率を下げることができました。
※算出式 = (材料費 ÷ 医業収益) × 100 ※算出式 = (薬品費 ÷ 医業収益) × 100						
13	後発医薬品指数(%)	90.0	94.0	4.0	B	後発医薬品の供給停止や出荷調整の影響が続いている状況ですが、代替後発医薬品の確保に努めた結果、目標を達成することができました。
※算出式 = 後発医薬品の数量 ÷ { (後発医薬品のある先発医薬品の数量) + (後発医薬品の数量) } × 100						

(3) 収入確保に係るもの

番号	項目	4年度 目標値	4年度 実績値	比較	自己評価・分析							
					評価	コメント						
14	年間延入院患者数(人)	74,800	73,503	▲1,297	C	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大による病棟休止が大きく影響し、目標値を下回りました。 前年度との比較においても減少していることから、入院患者数の回復に向けた取組を一層強化していきます。</p> <table border="1"> <tr> <td>3年度</td> <td>4年度</td> <td>増減</td> </tr> <tr> <td>75,079人</td> <td>73,503人</td> <td>▲1,576人</td> </tr> </table>	3年度	4年度	増減	75,079人	73,503人	▲1,576人
3年度	4年度	増減										
75,079人	73,503人	▲1,576人										
15	入院収益 (百万円、税抜)	4,890	5,105	215	B	<p>前年度と比較して、入院患者数は減少しましたが、手術件数が増加したことにより、目標値を上回ることができました。</p> <table border="1"> <tr> <td>3年度</td> <td>4年度</td> <td>増減</td> </tr> <tr> <td>5,013百万円</td> <td>5,105百万円</td> <td>92百万円</td> </tr> </table>	3年度	4年度	増減	5,013百万円	5,105百万円	92百万円
3年度	4年度	増減										
5,013百万円	5,105百万円	92百万円										
16	病床利用率(%)	53.6	52.7	▲0.9	C	<p>14番と関連して、目標値を下回りました。 病床利用率は、経営強化において特に重要となる指標であることから、利用率の回復に向けた取組を一層強化していきます。</p> <table border="1"> <tr> <td>3年度</td> <td>4年度</td> <td>増減</td> </tr> <tr> <td>53.9% (71.4%)</td> <td>52.7% (66.5%)</td> <td>▲1.2% (▲4.9%)</td> </tr> </table> <p>※ () はコロナによる休止病床を除いた率</p>	3年度	4年度	増減	53.9% (71.4%)	52.7% (66.5%)	▲1.2% (▲4.9%)
3年度	4年度	増減										
53.9% (71.4%)	52.7% (66.5%)	▲1.2% (▲4.9%)										
<p>※算出式 = (年間延入院患者数×100) ÷ (稼働病床数×実日数)</p>												
17	入院患者1人1日当たり 診療収入(円)	65,617	69,455	3,838	B	<p>診療単価が高い手術患者などが増加したことにより、目標値を上回ることができました。</p>						
<p>※算出式 = 入院収益 ÷ 年間延入院患者数</p>												

番号	項目	4年度 目標値	4年度 実績値	比較	自己評価・分析				
					評価	コメント			
18	平均在院日数(日)	9.2	9.2	0.0	B	<p>限られた病床を有効に利用するため効率的な病床運営に努めた結果、目標値を達成することができました。</p> <table border="0"> <tr> <td>3年度 9.5日</td> <td>4年度 9.2日</td> <td>増減 ▲0.3日</td> </tr> </table>	3年度 9.5日	4年度 9.2日	増減 ▲0.3日
3年度 9.5日	4年度 9.2日	増減 ▲0.3日							
※算出式＝年間延入院患者数÷{(入院件数+退院件数)÷2}									
19	年間延外来患者数(人)	171,800	171,464	▲336	C	<p>前年度の外来患者数170,979人は上回りましたが、目標値にはわずかに届きませんでした。また、コロナ禍の影響が少なかった令和元年度と比較すると26,228人減少していることから、引き続き外来患者数の回復に取り組んでいきます。</p> <table border="0"> <tr> <td>元年度 197,692人</td> <td>4年度 171,464人</td> <td>増減 ▲26,228人</td> </tr> </table>	元年度 197,692人	4年度 171,464人	増減 ▲26,228人
元年度 197,692人	4年度 171,464人	増減 ▲26,228人							
20	外来収益 (百万円、税抜)	2,641	2,715	74	B	<p>21番のとおり1人1日当たり診療収入が上昇した結果、目標値を上回ることができました。</p>			
21	外来患者1人1日当たり 診療収入(円)	15,401	15,835	434	B	<p>高額な薬剤の使用等によって、目標値を上回ることができました。</p>			
※算出式＝外来収益÷年間延外来患者数									

(4) 経営の安定性に係るもの

番号	項目	4年度 目標値	4年度 実績値	比較	自己評価・分析	
					評価	コメント
22	医師数(人) (臨床研修医等も含む)	79	79	0	B	大学等関係機関との連携や臨床研修の推進などにより、目標の医師数を確保することができました。
23	看護師数(人)	415	404	▲11	C	学資金貸与制度の活用や職員の随時募集を行いました。退職者も一定程度いることから、目標値を下回りました。
24	企業債残高 (百万円)	8,310	8,292	▲18	B	医療機器の計画的な更新や新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金を活用したことにより、令和4年度の企業債発行を抑制し【9頁の30番参照】、全体の企業債残高を目標値より減少させることができました。 今後も効果的な設備投資により費用の平準化を図りつつ、企業債残高の縮減に努めていきます。
※企業債とは地方公営企業が施設の建設・改良等に要する資金に充てるために国などから借りるお金のこと						
25	一時借入金残高 (百万円)	0	0	0	B	資金不足が生じた場合は、通常、運転資金を金融機関等からの借入金で措置します。 前年度に引き続き純利益を計上し、資金不足が発生していないことから、一時借入金は不要となっています。
26	累積資金収支 (百万円)	820	1,644	824	A	前年度に引き続き純利益を計上し、資金収支はプラスとなったことから、目標値を上回り資金剰余額を確保することができました。【9頁の33番参照】
※算出式＝流動資産－流動負債						

3 収支の状況

(単位：百万円、税抜き)

番号	収益的収支	4年度 目標値	4年度 実績値	比較	自己評価・分析	
					評価	コメント
27	病院事業収益	12,012	12,554	542	A	<p>医業収益は、手術件数の増【3頁の7番参照】や患者1人1日当たり診療収入の増【6頁の17番、7頁21番参照】などにより、入院収益、外来収益ともに目標値を上回ることができました。</p> <p>医業外収益は、感染症対策に係る補助金により、目標値を上回ることができました。</p>
	医業収益	8,309	8,610	301		
	入院収益	4,890	5,105	215		
	外来収益	2,641	2,715	74		
	その他	778	790	12		
	医業外収益	3,676	3,917	241		
	特別利益	27	27	0		
28	病院事業費用	11,915	11,655	▲260	A	<p>材料費は、診療材料や薬品などの使用量が見込を下回ったことにより、それ以外の費用は、効率的に執行したことなどにより、全て目標値よりも削減することができました。</p>
	医業費用	11,190	10,966	▲224		
	職員給与費	5,197	5,169	▲28		
	材料費	2,169	2,039	▲130		
	経費	2,817	2,758	▲59		
	その他	1,007	1,000	▲7		
	医業外費用外	591	573	▲18		
特別損失	134	116	▲18			
29	経常収支	204	988	784	A	27番、28番に連動して、目標値を大きく上回ることができました。
	当年度純損益	97	899	802		

(単位：百万円、税込み)

番号	資本的収支	4年度 目標値	4年度 実績値	比較	自己評価・分析	
					評価	コメント
30	資本的収入	809	794	▲15	B	<p>企業債は、新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金を活用して医療機器を整備したことなどにより、目標値よりも減少させることができました。</p>
	企業債	300	282	▲18		
	他会計負担金等	467	467	0		
	その他	42	45	3		
31	資本的支出	1,176	1,159	▲17	B	<p>建設改良費は、競争性を確保した適切な契約手続等により、目標値よりも削減することができました。</p>
	建設改良費	357	349	▲8		
	企業債償還金	776	776	0		
	その他	43	34	▲9		
32	資本的収支	▲367	▲365	2	B	収支マイナスを目標値よりも減少させることができました。

33	流動資産	2,824	3,736	912	A	<p>単年度資金収支及び累積資金収支は、27番から32番に連動して、目標値を上回ることができました。</p> <p>なお、資金不足のマイナス表記は、剰余を意味しており、参考数値として掲載しています。</p>
	流動負債	2,004	2,092	88		
	うち企業債	866	866	0		
	単年度資金収支	107	931	824		
	累積資金収支	820	1,644	824		
	資金不足額	▲1,686	▲2,510	▲824		
	資金不足比率	—	—	—		

※収支状況の数値については、公営企業の経営に当たっての留意事項について（総務省通知）の収支計画記載要領に基づき、収益的収支は税抜き、資本的収支は税込みで作成している。